

インフォメイトしょ

▶ 脳神経外科のご紹介 ～脳疾患の治療の実際と取り組みについて～

▷ Topics: 認知症看護について・・・P05

市民公開講座を開催しました／人間ドックのご紹介・・・P06

2026.Jun
Vol. **51**

〈病院の理念〉
一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

〈病院の方針〉
1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します

4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
5 信頼される優れた医療人を育成します
6 健全な病院経営に努めます



【栄養科より】

飲み込みやすい食事(嚥下食)について

今回は飲み込む力が低下している方に向け、飲み込みやすくする食事の工夫について紹介します。

「口から食べる」ということが加齢や病気の影響でうまくできず、食べる量が減ると、低栄養に繋がる可能性があります。かむ力、飲み込む力は個人差が大きいため、一人ひとりに合った適切な食形態にすることで、誤嚥や窒息を防ぐことができます。

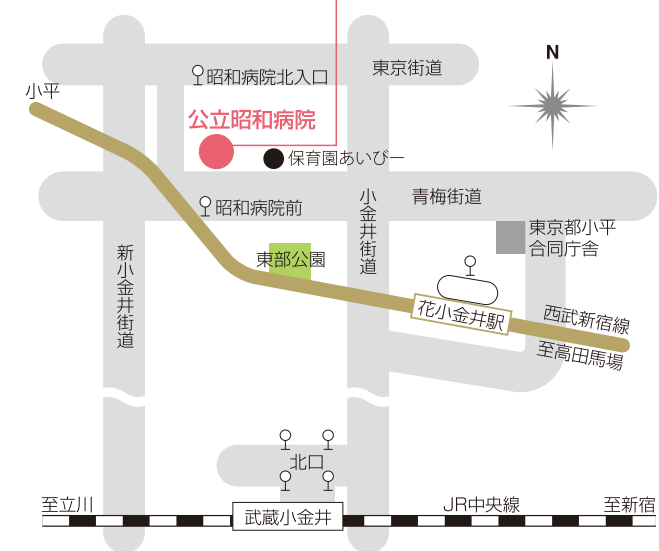
〈飲み込みやすくする食事のポイント〉

- 適度な水分を含ませてバサつきを防ぐ
パン → フレンチトースト
- 油脂やつなぎ、とろみでまとめる
粉吹き芋 → マヨネーズで和えたポテトサラダ
魚・チャーハン → 煮魚・あんかけチャーハン
- やわらかく調理する
「煮る」「蒸す」「つぶす」「すりおろす」など(舌でつぶせるか確認する)
- 野菜は繊維や筋を切るようにカットする
細かく刻むより、一口大サイズでやわらかく煮込む
- やわらかくなめらかな食品を選ぶ
プリン、ゼリー、ヨーグルト、卵豆腐、冷奴など



■ 交通案内

- 西武新宿線「花小金井」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車10分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車8分「昭和病院前」下車
- タクシー乗車約7分
- JR中央線「武蔵小金井」駅 北口下車
- 西武バス『武21』錦城高経由東久留米駅西口行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車900m
- タクシー乗車約15分
- JR中央線「国分寺」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車37分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車30分「昭和病院前」下車
- タクシー乗車約20分
- 西武池袋線「東久留米」駅 西口下車
- 西武バス『武21』錦城高経由武蔵小金井駅行き乗車23分
「昭和病院北入口」下車900m
- タクシー乗車約18分
- 西武新宿線「小平」駅
- 北口下車小平市コミュニティタクシー(ぶるべー号)
大沼ルート乗車15分「昭和病院」にて下車
- 南口下車西武バス『武17』昭和病院経由
武蔵小金井駅行き乗車10分「昭和病院」下車
- 南口下車タクシー乗車約9分
- 都営バス『梅70』青梅車庫前～花小金井駅北口「昭和病院前」下車



公立昭和病院 【発行】公立昭和病院
【編集】広報委員会

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1 www.kouritu-showa.jp
Tel:042-461-0052(予約専用ダイヤル:042-461-4896) Fax:042-464-7912



ホームページ



Instagram



脳神経外科のご紹介

脳神経外科 部長 吉河 学史

脳神経外科では脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍などを中心に診療・手術を行っています。

脳血管障害領域の中でも動脈瘤治療は、当科では直視下での開頭手術を第一選択とし、蓄積された手術症例も非常に多いため経験も豊富であり、自信をもって治療にあたっています。ただ、近年では脳血管内治療が使用器材・手術技術の進歩とともに盛んになってきています。

これは従来の頭部や頸部を切り開いて行う開頭手術などの直達手術とは異なり、カテーテルという細長いチューブを用いて血管の中から行う治療です。

血管撮影検査室の台に仰向けに横になり、局所麻酔と鎮静・鎮痛薬点滴静注（時に全身麻酔）のもと、右下肢の付け根から約2〜3mm径のカテーテルを身体の中の血管に挿入して治療します（写真1）。

以下の疾患などに対して治療の安全性や確実性などを検討しながら、脳血管内による治療を選択することがあります。

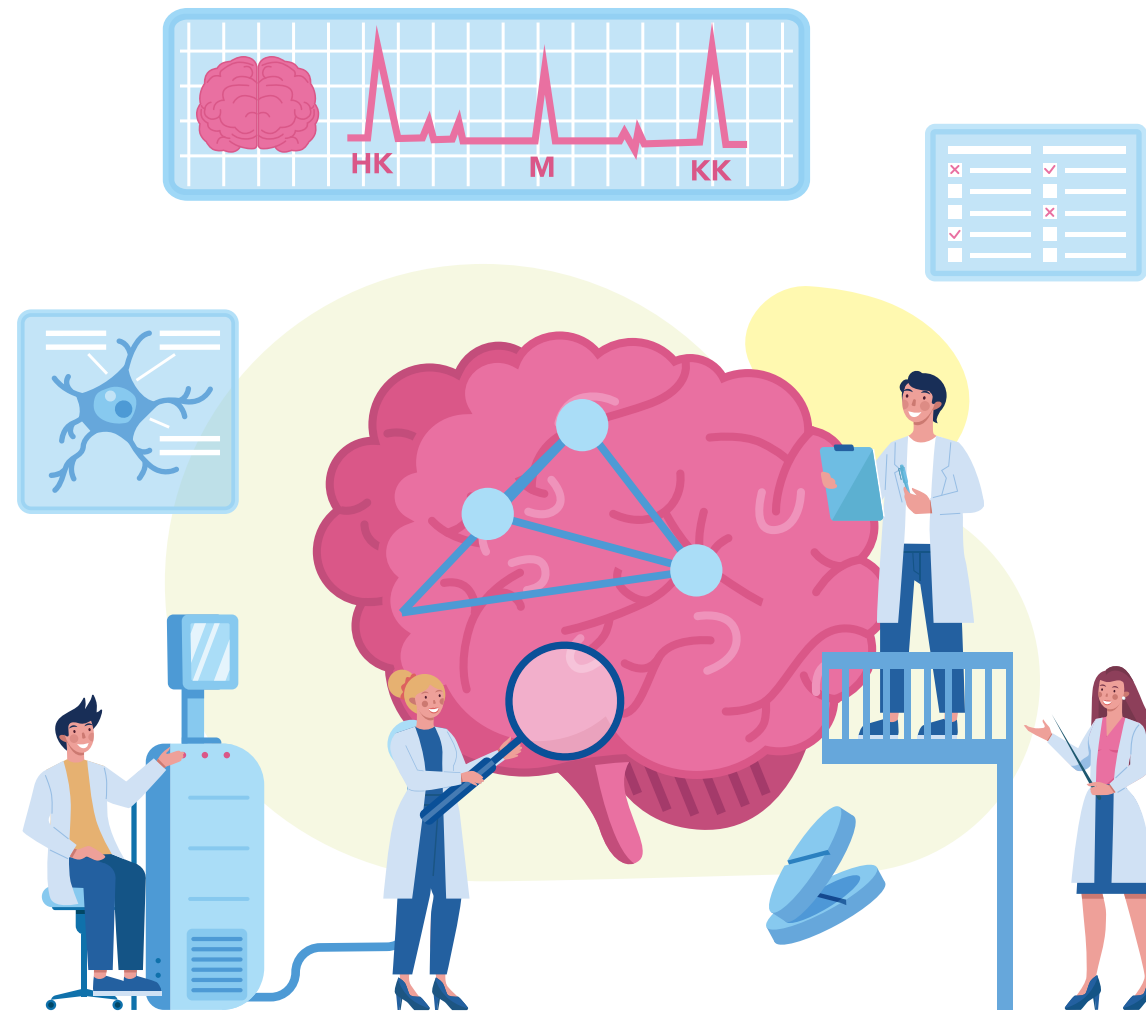


写真1

急性期脳梗塞

脳に血流を送る太い血管（内頸動脈や中大脳動脈、脳底動脈など）が突然閉塞すると、意識障害や片麻痺、失語症など重篤な症状が出現します。救急搬送後にCTやMRI、血液検査などを行い、救済可能な脳組織が充分存在する場合は、積極的にカテーテル治療による血栓回収療法を行っています（写真2）。

これまではtPA静注療法を含めた点滴治療が主体で閉塞部の再開通が得られないことが多かったのですが、吸引カテーテルやステントリトリバーという血栓捕獲デバイスの発達により、再開通率も上昇し、自宅復帰率も上がっています。

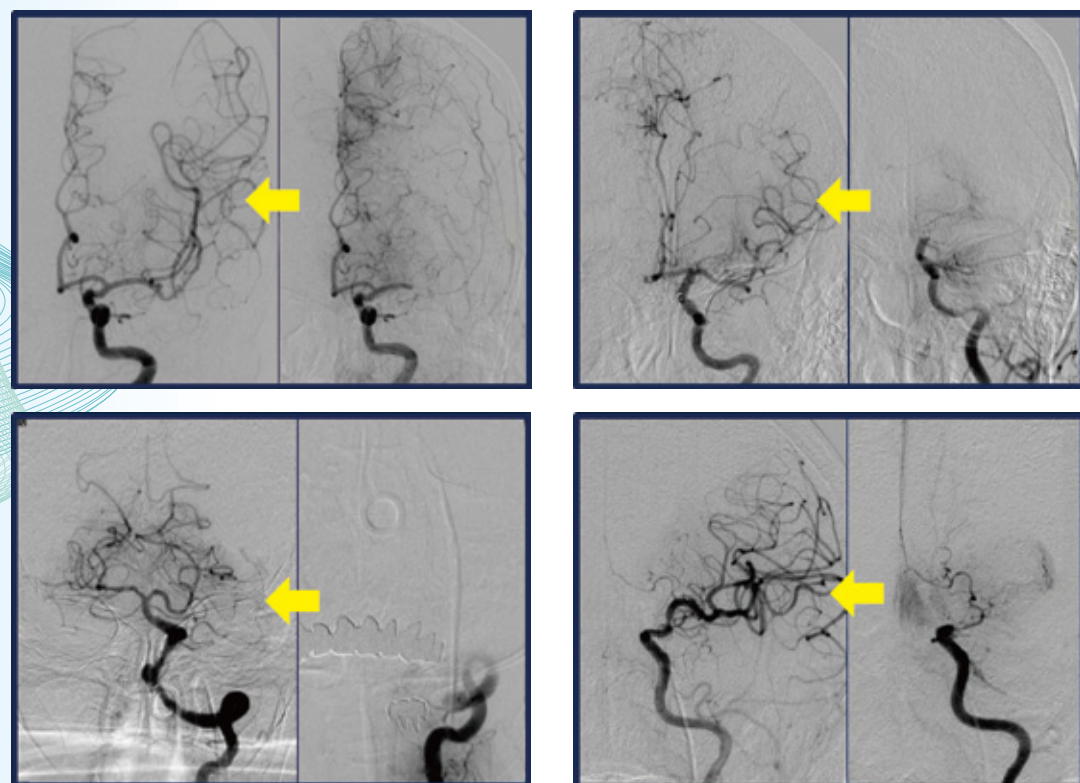


写真2

脳動脈瘤

くも膜下出血を来した破裂脳動脈瘤や、破裂リスクの高い未破裂脳動脈瘤など動脈にできたこぶに対する治療です。

当院では現在でも、動脈瘤のくびの部分（頸部）にクリップをかけて血流を遮断するクリッピング手術を治療の中心としています（写真3）。また、手術中にインドシアニングリーン（ICG）という色素を注射し、近赤外線カメラで観察し、動脈瘤内への血流消失と、周囲血管の開存を確認しています（写真4）。

ただ、超高齢者や他の重症疾患を有する方など全身麻酔のリスクが高い場合、また動脈瘤の部位などの理由により、クリッピング手術のリスクが高いと判断された場合、脳血管内治療によるコイル塞栓術を行います。これは極細のカテーテルを血管の中から動脈瘤内に入れ、その中からプラチナ製の太さ0.3mm程度のコイルをくびの中に巻いて充填することで、くびの中への血流を遮断します。

また、最近では未破裂動脈瘤に限りますが、動脈瘤内に異物を挿入することなく、入り口をステントで覆うフローダイバーター治療も可能となっています。

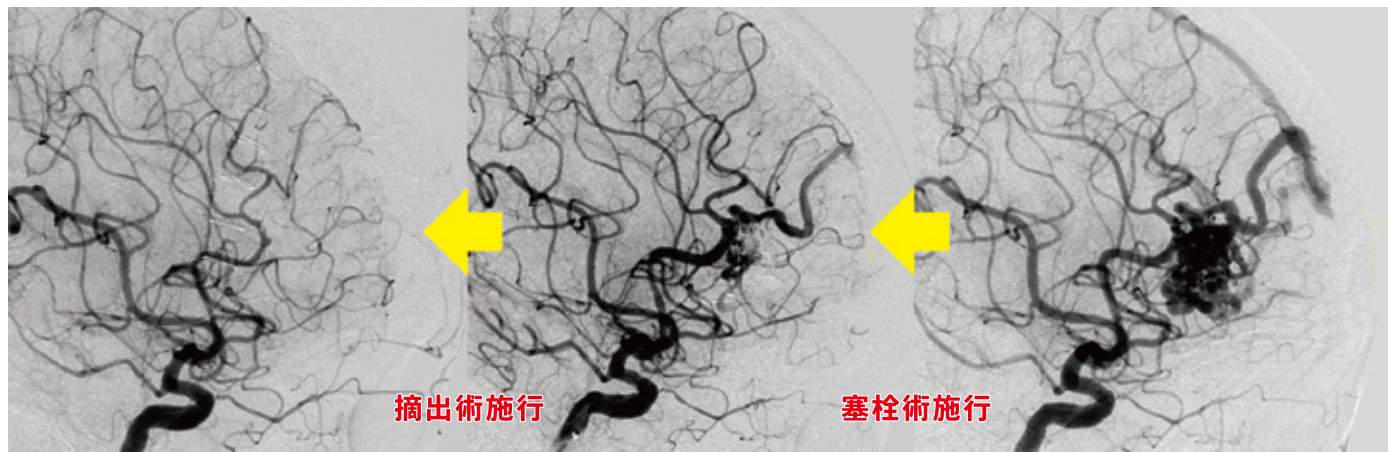
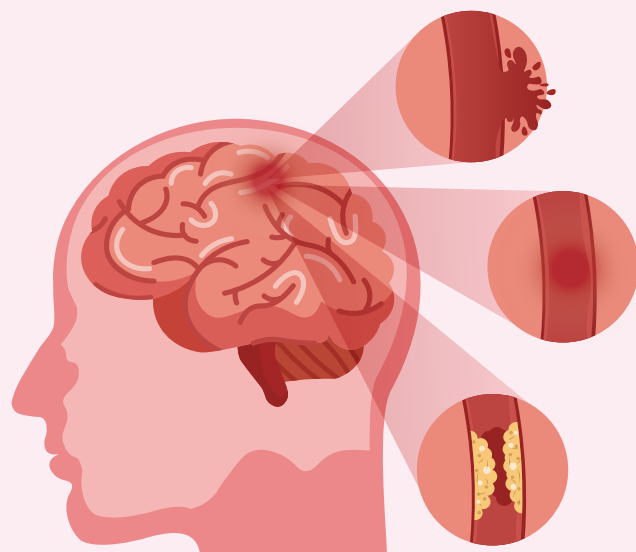


写真5

黒い塊に見えるのが脳動静脈奇形の本体（ナイダス）で、そこから右斜め上に走るものが流出静脈です。
塞栓により、黒い塊が薄くなり、手術により、この塊がその右斜め上方向に走行する流出静脈ごと、摘出されています。

Topic



神経内視鏡手術の導入

脳腫瘍は開頭による摘出術がほとんど唯一の選択肢となります。しかし下垂体腫瘍については、鼻腔からアプローチする経鼻内視鏡下の摘出術が可能です。

当院では2025年度より4K解像度の内視鏡システムが新規導入され、各科との共有

当科では2023年4月から一次脳卒中センター（PSC）コア施設の認定を受けています。これは、一次脳卒中センター（PSC）の認定を取得している他に、脳卒中相談窓口（PSC）の認定することが要件の一つとなっており、急性期脳卒中に対する治療実績が認められて初めて、認定されるものです。

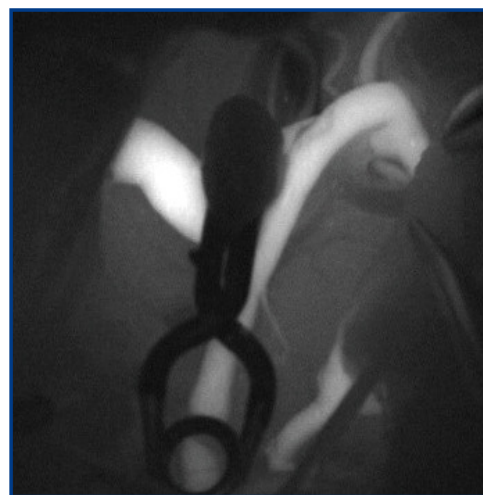


写真4

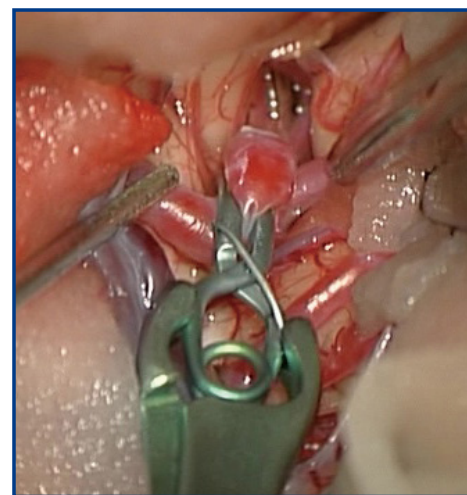


写真3

頸動脈狭窄症

動脈硬化が進行して頸動脈の壁にプラークが蓄積すると、脳血管内腔の血液の通るスペースが細くなったり、プラークが脳へ飛散することにより、脳梗塞を生じるリスクが高くなります。

当院では現在でも頸部皮膚を切開して頸動脈のプラークを摘出する、頸動脈内膜剥離術が治療の中心です。ただ、動脈瘤と同様に、全身麻酔のリスクが高い場合や、病変的に直達手術よりも安全性が高い場合に、脳血管内治療によるステント留置術を行います。カテーテルの中からステントというものを入れることで、細くなっている血管を広げる治療です。

脳動静脈奇形

脳の動脈と静脈が毛細血管を介さずに異常な血管の塊（ナイダス）を形成して直接つながっている先天性の病気で10万人に約1人の頻度で発生するといわれており、出血やてんかんの原因となります。

当院では、脳血管内治療でまず塞栓術を施行してナイダスへの血流を低下させてから、直達手術によるナイダス摘出術を行っています（写真5）。

ですが、当科でも下垂体腫瘍に対して神経内視鏡下での手術が可能となっています。

その他

当科で多く手掛けているものとして、もやもや病に対する血行再建術があります。もやもや病は内頸動脈終末部が進行性に細くなって脳梗塞や脳出血をおこす病気で、10万人当たり6〜10人いると考えられています。脳卒中の予防（再発含め）のためには、新たに脳へ血流を供給する血行再建術（いわゆるバイパス術）が効果的です（写真6）。

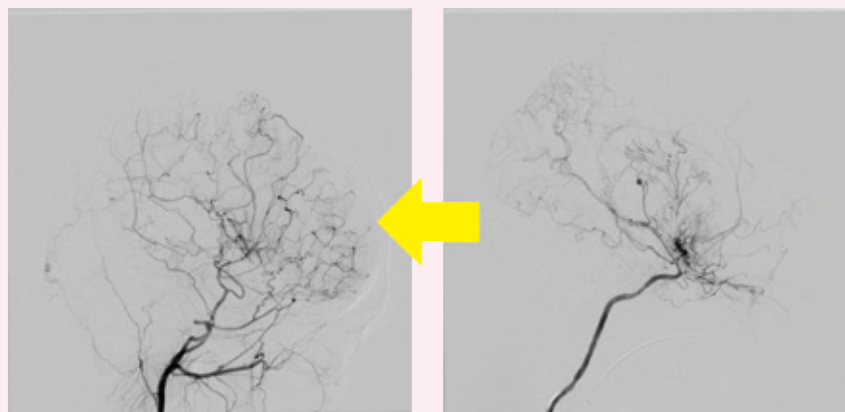


写真6

その他、三叉神経痛や顔面けいれんといった、脳神経と血管が接触して発生すると考えられている病気に対して神経血管減圧術を行っており、また脊髄疾患へも対応可能です。ぜひ一度脳神経外科へご相談ください。

認知症看護について

急性期の現場でも
その人らしい人生を

認知症を「不可避の老化現象」と捉えるのではなく、「早期発見と適切な支援により、その人らしい生活ができるだけ長く維持できる状態」と位置づけています。意思決定に参加できる環境づくりや、地域で役割を持ち続けられる社会の構築も重視されており、急性期医療の現場においても重要な視点です。



急性期治療の環境は身体的・精神的負担が大きく、特に高齢の方や認知症の人はせん妄を発症しやすいと言われています。せん妄とは、急な環境変化や脱水、感染、貧血、薬剤など、体に負担がかかった時、一時的に意識が混乱する状態の事です。せん妄は回復過程や退院後の生活に影響を及ぼすため、予防と専門的対応が不可欠となります。

認知症看護認定看護師の役割

私たち認知症看護認定看護師は、認知症の専門知識と技術を持ち、患者さんやご家族、他の看護師に「専門的な看護を提供する」役割を担っています。そして、一人ひとりの思いや価値観に寄り添い、その人らしい生活を支える看護を提供していきたいと考えています。



認知症看護認定看護師 田尻 龍介
Tajiri Ryusuke

認知症看護認定看護師 中澤 育子
Nakazawa Ikuko

認知症ケアチーム



ミーティング風景



専門看護師
／認定看護師

こちらの白衣は、資格をもった看護師が着用し、活動を行っています。

公立昭和病院では、認知症ケアチームとして他職種と連携しながら、小児科などを除く11病棟を対象に、週1回、40名ほどの患者さんに対する定期的な回診やミーティングを実施しています。不快や苦痛などの症状緩和に努め、入院中もその人らしさを保てるケアを実践できる様、病棟看護師に提案を行っています。

市民公開講座を開催しました

当院では、地域の皆様にごんをはじめとした様々な病気についての知識を深め、役立てていただけますよう、定期的に市民公開講座を開催しています。去る5月23日(土)、第43回市民公開講座を小平市の「ルネこだいら(中ホール)」において、小平市・小平市医師会のご協力をいただき開催いたしました。当日は、奥富洋一副市長より開会のごあいさつをいただき、想定を大きく上回る多くの皆さまにご来場いただきました。

会場定員の都合により、一部の方にはご入場をお断りせざるを得ない状況になりました。ご来場いただいたにもかかわらず、ご参加いただけなかった皆さまには、多大なるご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。後日、講演内容を収録した動画を、当院ホームページの市民公開講座のページに掲載いたします。ぜひ、ご視聴ください。

講演内容

「人生の最終章に起こること」
～在宅緩和ケアの立場から～



ケアタウン小平クリニック 名誉院長
山崎 章郎 先生

「そのとき、あなたは
どんな人生を望みますか？」
～地域でつながり支える人生会議(ACP)～



当院 循環器内科 医長
岡田 健助 先生

次回の開催予定(入場無料・事前申込み不要)
日時 令和8年9月12日(土) 14時開場
場所 清瀬けやきホール

動画視聴はこちら↓



人間ドックのご紹介

当院の予防・健診センターは日本人間ドック・予防医療学会の「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受けている健診施設です。落ち着いた空間で、専門の医師による質の高い健診をご提供しております。



1日ドックコースをお申し込みの方のみ、オプション検査が利用できます。
内視鏡検査をご希望の方は、経口(口から)と経鼻(鼻から)をお選びいただくことができます(事前予約)。

辟(すい)ドック始めました! 31,900円(税込)
(1日ドックのオプション検査となります。)

健診についての予約・お問い合わせはこちら

お問い合わせ
ご予約は 042-466-1800
(予防・健診センター)
平日9時～16時

※詳細はホームページでご確認ください。



基本料金

1日ドック
[実施日] 毎週月曜～金曜日 ※オプション可 50,600円(税込)

半日ドック
[実施日] 毎週月曜～金曜日 午後 38,500円(税込)

脳ドック
[実施日] 第1・4木曜、第2・3水曜 82,500円(税込)

土曜日1日ドック
[実施日] 5月・8月・1月 61,600円(税込)

土曜日半日ドック
[実施日] 5月・8月・1月 40,700円(税込)

CTによる大腸検査
[実施日] 毎週水曜 午後 31,900円(税込)

構成市住民対象プラン

構成市住民半日ドックプラン(通年)
(オプション不可) 38,500円(税込) → 26,950円(税込)

構成市住民対象CTによる大腸検査
31,900円(税込) → 22,330円(税込)

※オプション検査は、一部構成市住民割引がございません。

構成市:小金井市 小平市 東村山市 東久留米市 清瀬市 東大和市 西東京市
(※構成市住民料金は、ご加入の健康保険組合等によっては、対象外となります。)